

放送番組審議会 議事録

日 時 平成27年5月11日（月） 午後1時30分～午後2時43分まで
 場 所 佐久情報センター セミナールーム
 出席者 放送番組審議委員：柳澤 陽会長、依田 方伯副会長、依田 絹江、山崎 幸枝、
 土屋 礼子、上原 よう子、甘利 雅臣、小嶋 秀文
 佐久ケーブルテレビ（事務局）：依田常務、池田課長、土屋課長補佐、柳澤、黛、飯島、土屋、
 折居、上野、小泉（議事）

議 事 放送番組審議会 次第に従って以下のとおり行なわれた。

1 開会

・事務局より、放送番組審議会の開会が宣言された。

2 依田常務あいさつ

3 柳澤会長あいさつ

- ・ここ2、3年で（SakuCityNews以外にも）番組が充実してきた。
- ・GWのバルーンフェスティバル・佐久鯉まつり生中継の慰労。
- ・佐久サムライ「いじめを斬る」、殺陣のシーンや背景がとても美しい。

4 会議事項

- ・事務局より視聴番組について説明された。
- ・4月4日に開催された新・佐久市誕生10周年記念式典で放送した、佐久市出身・縁の人物のインタビューを再編したものを視聴した。

〈番組審議会委員から〉（番組について・その他全般）

小嶋委員	感想	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな分野の人物を取り上げている。おもしろい番組。 ・味のある話を聞き出している。 ・インタビューアーの声が無いため、どのような質問に答えているのかわかりにくい。 ・字幕を読んでいると、話の内容が入ってこない。必要な情報だと思うが工夫が必要。
柳澤会長		<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースの放送回数が6回から8回に増えた。 ・自身も朝3時の放送をたまに見ているが、高齢者には良い時間帯だとおもう。
依田副会長	感想	<ul style="list-style-type: none"> ・新・佐久市誕生10周年記念式典に参加し、全員のインタビューを視聴したが、子どもから高齢者まで幅広くカバーされていた。 ・ケーブルテレビのあり方、経営、人的要因を含めて考えていく必要がある。 ・番組編成は充実してきたが、実際は加入率が低い。 加入してもらおう番組づくり、委員としてどういったものを作るべきか意見を出していきたい。 ・一例として、子育ての助けになる、母親の助けになるような番組を作ってはどうか。 NHKや民放でももちろん放送はしているが、ケーブルテレビならば母親の要望に応えた放送時間設定・内容など柔軟に対応できる。
上原委員		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの中学校の入学式を見ることができた。放送してくれて本当によかった。 ・園児の番組などは、孫の活躍を祖父母に見せるのに活用できる。
依田委員		<ul style="list-style-type: none"> ・NHK・民放とケーブルとの違いは、地元主体、身近な情報伝達がケーブルの役目だとおもう。 ・加入者の中でも視聴習慣がついている人は、ほぼ毎日見ている。 ・加入促進には、孫のいる高齢者が狙い目。孫の活躍は保護者よりも祖父母の方が関心が高い。
依田常務		<p>小学校・中学校以外にも、県内ネットワークの接続が完了することで、高校野球で高校もカバーできるようになる。</p>

土 屋 委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前取材してもらった講演会（小宮山洋子さんの）をニュースを視聴したが、要点がきちりまとめられ、自身の勉強にもなった。 ・ 月々かかる通信費の中で、携帯は夫と1つにして節約はするが、ケーブルテレビを解約する気にはならない。地域の情報収集には欠かせないと思う。 ・ 委員としてできる限りPRをしていきたい。
柳 澤 会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作の人員がもっと増えてもよいと感じる。

5 閉会

- ・ 事務局より、放送番組審議会の閉会が宣言された。
（次回は年内の開催を予定）

